



〔海の状況 (7/16~8/15) 〕

- ・ 神子地先の表面水温… 期間をとおして平年よりかなり高め(平年差 1.0~1.5℃)で推移したが、期間の終わりは平年よりかなり低め(平年差-1.5~-1.0℃)から平年並み(平年差±0.5℃)で推移した。8/7-8 の急激な水温低下は台風 5 号の影響によるものと考えられる。(図 1)
- ・ 米ノ地先の表面水温… 期間をとおして平年よりかなり高め(平年差 1.0~1.5℃)で推移したが、期間の終わりは平年よりかなり低め(平年差-1.5~-1.0℃)から平年並み(平年差±0.5℃)で推移した。8/7-8 の急激な水温低下は神子地先と同様で台風 5 号の影響によるものと考えられる。(図 2)

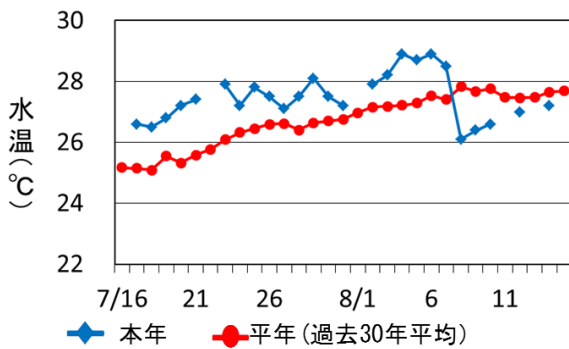


図1. 若狭町神子地先における表面水温の推移

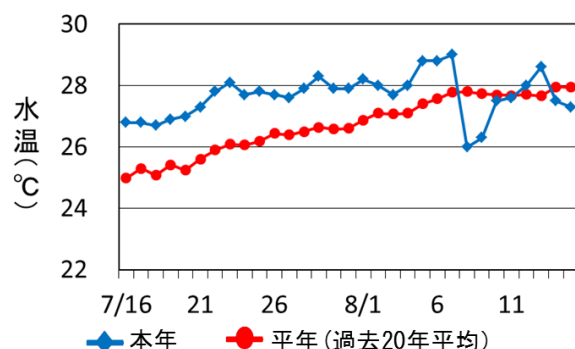


図2. 越前町米ノ地先における表面水温の推移

〔若狭湾および周辺海域の海況：7月〕

7月の若狭湾およびその周辺海域の水温分布は、表層(0m)では、石川県沿岸域で20~22℃と前年より低くなっていた。水深50mでは、若狭湾の一部で18~20℃と前年より低くなっていた。水深100mでは、山陰・若狭湾沖冷水域の規模は昨年並みで、はなはだ離岸していた。(図3)

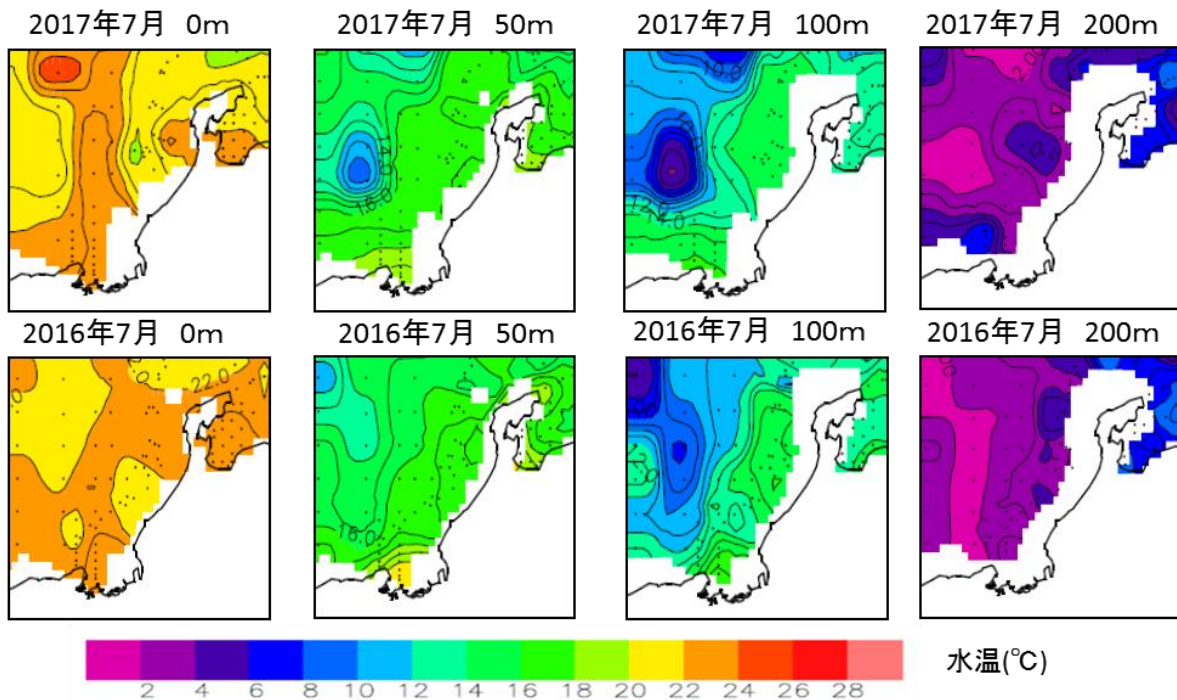


図3. 若狭湾およびその周辺海域の水温分布図 (日本海区水産研究所の日本海漁場海況速報より抜粋)

# 平成29年度 第2回 日本海スルメイカ長期漁況予報

水産研究・教育機構 日本海区水産研究所からスルメイカ長期漁況予報が発表されましたので概要をご紹介します。(対象：小型いか釣り)

○来遊量・漁況：前年並で近年(平成24～28年)平均を下回る。

○漁場：近年同様、漁場が形成されにくい。

※予報は水産研究・教育機構のホームページ(<http://www.fra.affrc.go.jp>)においても閲覧することができます。  
(漁場環境グループ 山下 慎也)

## 〔県内の漁模様：7月〕

2017年7月の県内の総漁獲量は1,109tで、昨年同月を20t上回った。

### 〔定置網〕

漁獲量は855tで、昨年同月を72t上回った。サバ類、サワラ、トビウオ等は昨年同月を上回り、カタクチイワシ、アジ類、ブリ類等は下回った。

### 〔底びき網〕

漁獲量は30tで、昨年同月を5t上回った。主な漁獲物はアカエビであった。

### 〔釣り・その他〕

漁獲量は224tで、昨年同月を57t下回った。トビウオ、アマダイ、スルメイカ等は昨年同月を上回り、サワラ、スズキ、タコ類等は昨年同月を下回った。

表. 主要魚種の漁法別漁獲量(7月)

定置網 魚種名	(kg)				
	2017年	2016年	平年	前年差	平年差
マイワシ	568	572	2,286	-4	-1,718
カタクチイワシ	16,507	27,787	19,657	-11,280	-3,150
アジ類	64,988	80,561	148,541	-15,574	-83,553
サバ類	85,578	27,930	22,553	57,648	63,025
マグロ類	927	283	984	644	-57
カジキ類	2,437	2,179	3,363	258	-926
カツオ類	390	1,609	3,668	-1,219	-3,277
ブリ類	216,847	320,684	243,566	-103,837	-26,719
(ブリ)	14,734	2,949	3,427	11,785	11,307
(ワラサ)	11,175	8,171	3,229	3,004	7,946
(ハマチ)	124,891	127,109	109,434	-2,218	15,457
(ツバス)	52,317	176,200	124,377	-123,883	-72,060
(アオコ)	13,729	6,255	3,098	7,474	10,631
ヒラマサ	1,857	2,020	1,850	-162	7
シイラ	11,667	18,968	6,708	-7,300	4,959
サワラ	339,085	173,648	167,145	165,437	171,940
トビウオ	44,934	41,200	66,140	3,735	-21,206
マダイ	10,815	10,401	9,959	414	856
その他タイ	2,875	6,222	1,347	-3,347	1,528
クロダイ	1,194	756	569	438	625
スズキ	8,465	11,054	9,219	-2,589	-754
ヒラメ	1,472	2,097	1,340	-625	132
カマス	1,721	11,062	6,832	-9,341	-5,111
フグ類	459	546	481	-87	-22
ケンサキイカ	21,805	31,802	12,101	-9,997	9,704
タコ類	495	652	549	-157	-54
その他	19,846	11,322	18,082	8,524	1,764
合計	854,931	783,354	746,939	71,578	107,993

底びき網 魚種名	(kg)				
	2017年	2016年	平年	前年差	平年差
その他カレイ	312	112	274	200	37
ハタハタ	1,522	1,784	715	-262	807
アカエビ	28,119	22,639	25,347	5,480	2,771
その他	235	719	1,052	-484	-817
合計	30,188	25,255	27,389	4,933	2,799

釣り、延縄、さし網、その他の漁法 魚種名	(kg)				
	2017年	2016年	平年	前年差	平年差
カジキ類	554	143	22	411	532
サワラ	9,982	11,461	1,892	-1,479	8,089
トビウオ	2,626	1,403	613	1,223	2,013
マダイ	926	871	2,556	55	-1,630
キダイ	5,395	5,649	5,876	-254	-480
アマダイ	3,735	2,677	4,877	1,057	-1,142
スズキ	1,479	2,477	6,641	-998	-5,162
その他カレイ	1,057	925	1,934	132	-877
アナゴ	843	139	933	704	-90
メバル類	2,367	3,059	3,367	-692	-1,000
スルメイカ	31,543	22,428	62,271	9,114	-30,729
ケンサキイカ	1,850	8,469	5,657	-6,618	-3,807
タコ類	36,336	47,561	41,217	-11,224	-4,880
その他エビ	644	471	974	173	-331
その他	124,466	172,732	164,577	-48,266	-40,111
合計	223,803	280,466	303,407	-56,663	-79,604

全漁法	(kg)				
	2017年	2016年	平年	前年差	平年差
合計	1,108,922	1,089,074	1,077,734	19,848	31,188

※1 平年の値は2007-2016年の10年平均です。 ※2 ( )は銘柄、その他カレイはアカガレイ以外のカレイ類、その他エビはアカエビ以外のエビ類です。  
※3 数値は小数点以下を四捨五入しています。

## 〔近隣府県の漁模様〕

(漁獲状況…石川県：7月の定置網の1日あたりの漁獲量。京都府：7月にJF京都漁連舞鶴地方卸売市場へ水揚げされた定置網の1日あたりの漁獲量。兵庫県：7/1-7/31の余部定置網の1日あたりの漁獲量。鳥取県：7月中旬～8月上旬のまき網の1統あたりの漁獲量。)  
石川県…定置網…カタクチイワシ5.0t、マアジ3.6t、サワラ類3.1t、トビウオ2.4t、フクラギ(500g～2kgのブリ)2.0t  
京都府…定置網…サワラ類4.0t、マアジ1.2t、トビウオ1.1t、サバ類1.0t、ハマチ0.8t  
兵庫県…定置網…トビウオ84kg、マアジ46kg、ツバス20kg、マイワシ20kg、スズキ18kg、マサバ14kg  
鳥取県…まき網…マイワシ26.8t、ブリ類6.5t、マアジ3.4t、ウルメイワシ2.4t、マサバ1.4t、カタクチイワシ0.7t

(漁場環境グループ 山下 慎也)

今年も標識をつけたヒラメを放流しました。

標識のついたヒラメを発見したら情報提供をお願いします。

7月31日に越廼漁港地先に標識を付けたヒラメ稚魚（10 cm）を1,300尾放流しました。

標識（目印）の付いたヒラメを漁獲あるいは市場に水揚げされているのを発見した際は、の情報提供をお願いします。

標識は、昨年と同じくタグまたはパンチングのいずれかが目印です。

今年は、昨年放流したヒラメが1歳になり、全長が30 cmを超えてくるので、釣りや定置網などで漁獲されるサイズになります。タグ標識は非常に発見をしやすいですが、パンチング標識は、並んだ斑点が目印になるので、無眼側の黒化の様子を見ないと判別できません。もし、黒化したヒラメを再捕した際には、ちょっと注意して黒化の模様を確認していただけたらと思います。



なお、本県以外でも、日本海側の各府県がヒレカットやタグなど色々な標識を付けて放流していますので、標識のついたヒラメを見かけた際には、

- ・ 標識の種類
- ・ どの海域で漁獲
- ・ 全長
- ・ 漁法

を水産試験場または近くの普及員まで御一報ください。

(漁業管理グループ 松宮 由太佳)